

2025年度

中等部第1回

社 会

令和7年2月1日実施

40分

〔受験上の注意〕

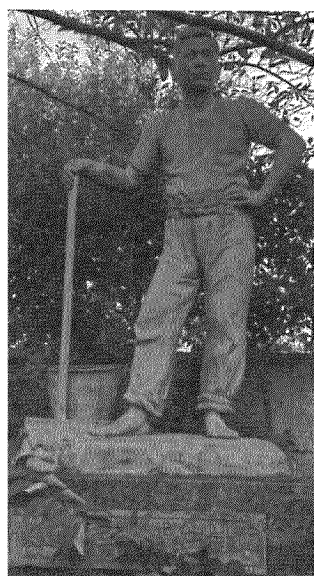
1. 問題は14ページまでです。
2. 解答時間は40分です。
3. 解答用紙はこの冊子の最後にあります。
解答は解答用紙の所定のところに記入してください。
4. 問題用紙・解答用紙に、
受験番号・氏名を記入してください。
5. 答えはすべて解答欄^{らん}に記入してください。なお、漢字で書くべきところは漢字で書いてください。

受験番号	氏 名

〈はじめに〉

田園調布学園の広場や校舎を歩くと、学校の歴史を伝える銅像や展示、絵画などを見つけることができます。そのうちのいくつかを紹介しながら、あゆみをたどってみましょう。

1. 西村庄平先生像（にしむらしょうへい精進像しょうじん） 場所：西村庄平先生広場



田園調布学園の校舎の外には、2つの広場があります。このうち環状八号線（環八）に面している方が、「西村庄平先生広場」です。田園調布学園の生徒の1日は、左の西村庄平先生像の前を通して登校することから始まります。

西村庄平（生まれた年1876～亡くなった年1933）は、1876年に現在の徳島県美馬市の農家に生まれました。農業の手伝いをしながら高等小学校（第2次世界大戦前にあった、小学校の卒業後に2年間通う学校）を卒業し、代用教員（戦前にいた免許を持たない教員）として学校に勤めました。その後、さらに学びたいと考えて1895年に東京商船学校（現在の東京海洋大学）に進学し、卒業後は日本郵船会社の運転士（現在は航海士という）になりました。第1次世界大戦が始まった時には、政府や軍が使用する船の船長として、ヨーロッパへも航海しました。そのころに海外で出会った人たちから、「開国から間もない日本が、欧米の文物を採り入れて強大な国になれたのは、教育などに力を入れたからだろう」と言われ、教育に関心を持つようになりました。

日本には、江戸時代から庶民の子どもが読み書き算盤を学ぶ(1)□□□があり、江戸時代の後半になると儒教や西洋の学問などを学べる塾もたくさんできました。明治維新後の1872年には(2)□□が發布されて、全国に小学校がつくられました。しかし、男子に比べて女子の就学率（学校へ通っている子の割合）は低く、女子の教育機会は限られていました。そこで西村庄平は、日本郵船会社を辞めた後、女子のための学校をつくろうと考え、1926年6月5日、田園調布学園中等部・高等部のもとになる調布女学校をつくりました。最初は3年制の学校で、生徒の人数は11名でした。同じ場所に、調布幼稚園も開園しました。

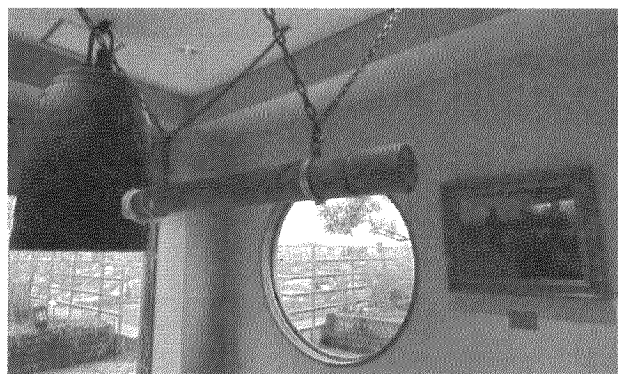
調布女学校が創立したころ、学校周辺には新たな住宅地が造られていました。1918年に、現在の大田区洗足から田園調布の一带を開発する田園都市株式会社が設立され、これにあわせて都心とつながる交通網も整備されていきました。1923年に目黒蒲田電鉄（現在の東京急行電鉄（東急）の前身）の目黒駅から蒲田駅までの

間が開通し、1927年には東急東横線のうち渋谷駅から神奈川駅（現在の反町駅と横浜駅の間にあった駅。現在はない）までの間が開通しました。西村庄平が書いた「調布女学校設立趣意書」（学校設立の目的などを記した文章）には、「田園都市株式会社が田園都市を開いてから、⑤ たえず多くの人が移り住むようになった。交通の便が良く、住みやすく、学校をつくるのに適した場所である」と書かれています。

創立の翌年、調布女学校は5年制の調布高等女学校となり、ナデシコの校章（学校の象徴をかたどったもの）と制服、校歌ができました。このうち校歌は、初代校長の川村理助（1867～1947）が作詞し、明治から大正・昭和時代にかけて多くの歌謡曲や童謡を手がけた中山晋平（1887～1952）が作曲しました。

最初に紹介した西村庄平先生像をみると、シャツ姿で清掃用のモップを握り、脇にはバケツが置いてあります。西村庄平は、病気で倒れる前まで、みずから校内の清掃をしていたそうです。1933年に西村庄平は死去しましたが、同じ年から生徒たちによる朝の講堂の雑巾がけや学校周辺の清掃活動が始まりました。これが、現在も中等部2年生がおこなっている「朝掃除」の始まりです。

2. 精進の鐘 場所：5階の鐘楼（鐘を吊した場所）



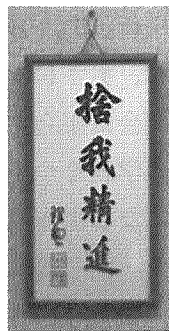
精進の鐘（左）とミレーの『晩鐘』（右）

障がいや病気を抱えた家族の介護を長い間続けていました。そうしたなかで、「どんなに困難な状況にあっても、わがまを捨て、自分の目標に向かって懸命に努力するとき、心は楽しさで満たされ、無限の力を発揮できる」という境地に達しました。この思いをあらわした言葉が、田園調布学園の建学の精神である「捨我精進」です。みなさんが試験を受けている教室にも、右のような額が掛けられています。

川村理助は、学校が創立する前から、1日の始めに鐘の音を聞いて精進を誓い、夕方一日を省みて明日の決意を新たにしたいと語っていました。そこで、副校長の細川武子（1892～1956）が中心となって「精進の鐘」を造ることにしました。

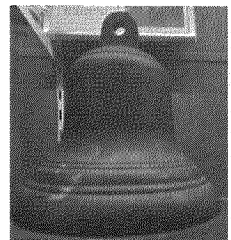
学校は、午前8時25分に朝礼が始まります。5分後の8時30分になると、校舎5階の「精進の鐘」の音が3度鳴り響きます。

川村理助は、28歳の時に和歌山県の師範学校（現在の和歌山大学教育学部）の校長となりました。その後は民間企業の経営に携わりましたが、一方で



鐘は、もとは中国でつくられた青銅製の打楽器に由来するとされています。(3)□□時代^{どうたく}に日本列島で使われていた銅鐸^{どうたつ}も、鐘の一種です。また、仏教の儀式にも採り入れられました。日本初の武士による政権をつくった一族の繁栄^{はんえい}と没落^{ぼつらく}を描いた『(4)□□□□』には、祇園精舎^{ぎおんしょうじや}（仏教を開いた釈迦^{しゃか}が教えを説いた場所）の鐘の聲、諸行無常^{しよぎやうむじやう}（この世には永久に変わらないものはない）の響きあり」という一節があります。仏教の寺院にある鐘を「梵鐘^{ぼんしやう}」といますが、「梵」には「清浄^{せいじやう}」（清らかで、心を乱す欲望や罪のないこと）という意味があります。また、寺院の鐘は法会^{ほうえ}（仏教の儀式）などが始まる「時」を知らせるためにも使われました。江戸時代には、高い櫓^{やぐら}に鐘を吊^{つる}して定めた時間に打つ「時の鐘^{じしやう}」（時鐘）が各地につくられました。

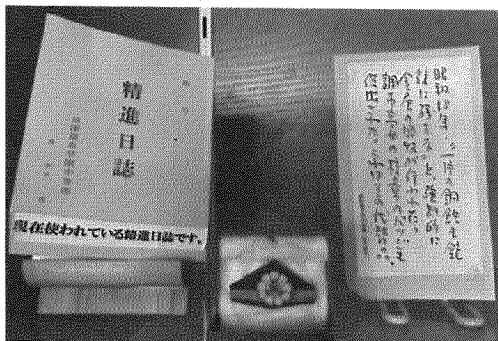
校舎1階の展示ケースには、「精進の鐘」が完成するまで使われていた鐘（右の写真）があります。この鐘は、もとは海軍の潜水艦^{せんすい}の時鐘でした。この鐘の説明文には、細川武子が「日夜三度、不断^{ふだん}に（いつも）精進の響きを伝へ（え）」たと書かれています。



また、校舎5階の鐘楼には、フランスの画家ミレー（1814～1875）が描いた『晩鐘^{ばんしやう}』^④を復原した絵が飾ってあります。この絵は、夕暮れまで農作業をしていた夫婦が、教会の鐘の音を聞いて仕事をやめ、神に感謝の祈りを捧げるようすを描いたものです。川村理助は、この絵のように精進を誓いたいと語っていました。

「精進の鐘」は、1934年に完成しました。全校生徒が現在の東急池上線^{ゆき}の雪が谷大塚駅^{や おおつか}まで出迎え、駅から学校まではトラックに載せて運ばれました。生徒たちは、鐘から伸びた紅白の引き綱^{こうはく}を握^{つな}って学校まで歩いたそうです。鐘の図柄^{ずがら}は、彫刻家の長谷川栄作（1894～1944）が手がけたもので、鐘の表面には天女^{てんによ}（天上の女神）の舞う姿が、下帯^{したおび}（鐘の一番下の部分）にはナデシコが彫られています。これらは、5階鐘楼や地下2階に飾ってある拓本^{たくほん}（表面に紙をあて、上から墨でたたいてうつしたもの）でも見ることができます。

3. 精進日誌とバッジ 場所：2階の展示ケース



現在の精進日誌（左）と
戦前に使われた代替バッジ（右）

2階入口から校舎の中に入ると、「精進日誌」が展示されています。中等部に入学すると、最初は毎日、精進日誌を書きます。

調布女学校が開校した時に、川村理助が始めたことの1つが、1週間に1度、生徒と教員・職員に対して精進についての講話をおこなうことでした。これが、現在の「講

堂朝礼」や「精進講話」に受け継がれています。地下2階の講堂には、西村庄平と川村理助の肖像画が並んで飾られています。

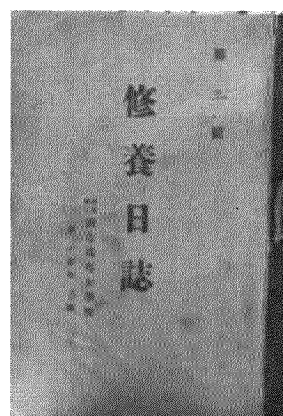
もう1つが、精進日誌を毎日つけることでした。川村理助は、和歌山県の師範学校で校長を務めていた時、生徒の心を落ち着かせるために、その日あったことを振り返る反省録を書くよう勧めました。そして、生徒全員が書いたものを読み、助言を記しました。こうした経験が、調布女学校で精進日誌を書かせることにつながったのです。

もともと「日記」とは、天皇の発言や行動、朝廷の儀式などについて役人が日付とともに記録したものを指しました。奈良時代に成立した『日本書紀』には、7世紀後半に中国の(5)□へ使節を送った時に同行した役人の日記や、672年の壬申の乱の時に大海人皇子（後の天武天皇）に仕えていた役人の日記があったと記されています。その後、794年に都を遷した(6)□□天皇の子の嵯峨天皇（786～842）の時に、日付とともに記した宮中（天皇の居る所）の記録を日記と呼ぶことが確立したと考えられています。

しかし10世紀に入ると、地方で武士の反乱が相次いだことから財政が苦しくなり、国が日記を作成することは難しくなりました。その代わりに、国の政治に携わる貴族たちが、宮中のしきたりや儀式を進める順序などを日記に書き残すようになりました。貴族の藤原師輔（908～960）が子孫へ残した遺言には、毎朝、朝食の前に日記を書くようにと書いてあります。この藤原師輔の孫が、摂関政治の全盛期を築いた(7)□□□□です。彼が書いた日記『御堂関白記』は、日本最古の自筆で残された日記です。やがて、日記を代々受け継ぐ家は「日記の家」と呼ばれ、朝廷の伝統行事を続けていく上で重要な役割を担うようになりました。

中世になると、寺院や神社、武家なども日記を残すようになりましたが、これらは寺社や一族にとって大事なことを引き継ぐための記録として書かれたものでした。また、江戸時代には村の長である(8)□□や、町の裕福な商人なども日記を書きましたが、多くは仕事や商売についての記録でした。

一般の人たちの間で日記が広まったのは、明治時代の後半からとされています。日清戦争が終結した(9)□□□□年、博文館（現在の博文館新社）という出版社が持ち運びに便利な小型の日記帳を発売すると、個人の経験や感想などを日記に書き留めることが流行しました。また、学校や軍隊などでも日記が採り入れられ、自らの心を養うことを目的としたことから「修養日誌」と呼ばれました。田園調布学園の精進日誌の表紙にも、戦前には右のように「修養日誌」と書かれていました。



戦前に精進日誌として
使われた日誌

2階の展示ケースには、精進日誌と一緒に校章が展示されていますが、そこには次のような卒業生の説明文が添えられています。

昭和18年、「一片の銅鉄も銃後に残すな」と、強制的に金属の回収が行われた。
調布高女（調布高等女学校）の校章のバッジも供出された。これはその代替品。

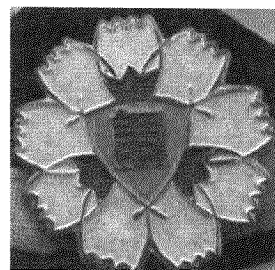
文章中の「供出」とは、国の求めに応じて物資を差し出すことです。

② 1931年9月に満州事変が始まり、1937年7月からは中華民国との全面戦争へ突入しました。展示ケースの説明文にあった「銃後」とは、兵士が戦っている戦場に対して、戦場になっていない内地（国内のこと。植民地などを除いた日本の領土）や、そこで生活して戦争を支えている国民のことを指します。日中戦争が始まったころから、「銃後」の生活にも戦争の影が忍び寄ってきました。調布高等女学校では、1937年から陸軍の依頼で軍服の肩章（肩に付ける階級を示すしるし）を付け替える作業をおこなったり、陸軍病院を慰問（病気や怪我で苦しんでいる人を見舞うこと）したりするようになりました。また、同じ年の12月には10日間にわたり授業と試験をおこなわずに、戦争で傷ついた兵士が着る服を縫いました。こうした活動は、翌年以降も続けられました。

第2次世界大戦が始まった翌年の1940年は、当時の日本で使われていた神武紀元（明治時代に神武天皇が即位した日を紀元前660年2月11日と定め、即位日から日付を数えた元号のこと）の2600年にあたりました。その記念事業として、東京府（現在の東京都の一部。1943年に東京市と合併して東京都となる）から無償で多摩川沿いの土地を与えられ、「食糧増産」のスローガンのもとで農作業が始まりました。毎週1回、午後は授業をせずにキャベツやジャガイモなどを栽培しました。

その一方で、日中戦争が始まった直後から、いらなくなったものを回収するという名目（表向きの理由）で、資源の回収が始まりました。1938年4月に(10)□□□□法が制定され、今後は法律ではなく天皇の命令（勅令）だけで人や資源などを戦争に利用できるようになりました。(11)□□□□年12月にアジア太平洋戦争が始まりましたが、その前には金属類回収令が出されました。年を追うごとに回収の対象となる物資は増えていき、家にある鍋やアイロン、照明の器具から、マンホールや橋の欄干（橋の横に取り付けた手すり）、道路の交通標識まで回収の対象になりました。その代わりに、木製品や陶磁器などが使われるようになりました。

調布高等女学校でも、1943年に金属製の校章バッジが供出され、その後は右のような半磁器製（土と石をまぜた原



戦前の代替バッジ

料を使った焼き物)のバッジをつけるようになりました。1944年には「西村庄平先生像(精進像)」も供出されましたが、戦後に近くの小学校の倉庫で発見され、無事に戻ってきました。また、「精進の鐘」も回収される予定でしたが、運び出すことができずに残りました。

1944年4月、学校の体育館や教室に作業台を並べて、簡単な工具を使って飛行機の部品などをつくる工場が設けられました。川崎などの軍需工場で働くことが難しかった生徒は、ここで作業をしました。そして、1945年4月1日からは1年間、原則として授業はおこなわないことになりました。日本本土への空襲も激しくなっていき、調布高等女学校の校舎にも焼夷弾^{しょういだん}が落とされました。

このように、今の学校生活からは想像できないような状況でしたが、当時の学校生活について、ある卒業生は「何も疑は(わ)ずに、のびのびした気分のまま従っていた」と述べています。戦前の日本では、大日本帝国憲法の条文で国民は(12)□□とされていました。学校では、日本人はみな「天皇の赤子^{せきし}」(国民はすべて天皇の子であるという意味)であると教えられ、「お国のため」「天皇のため」に命を捧^{ささ}げることが(12)□□の務めであるとする教育勅語が繰り返し読み説かれていたのです。

第2次世界大戦後、日本はアメリカを中心とする連合国軍の占領下に置かれました。非軍事化・(13)□□□の方針のもと、学校のあり方も大きく変わりました。1947年3月には、日本国憲法のもとで2つの法律が公布されました。これにより、1947年に調布中学校、1948年には調布高等学校の設立が認められました。

〈おわりに〉

2002年に田園調布学園大学が開学し、2004年から調布中学校・調布高等学校が田園調布学園中等部・高等部となりました。現在の校舎で授業がおこなわれるようになったのも、この年からです。そして2026年、田園調布学園は創立100周年を迎えます。問題文で紹介したもの以外にも、学校の歴史を語るものがたくさんあります。それらを見てまわりながら、学校の歴史について考えてみませんか。

おもな参考文献

『調布学園 80 周年記念誌 捨我精進の歩み 1926—2005』学校法人調布学園 慶應義塾大学出版会

『太平洋戦争下の学校生活』岡野 薫子 新潮社

『日記で読む日本文化史』鈴木 貞美 平凡社

問1 文章中の空欄(1)～(13)に入る語句・数字を答えなさい。□内に1字とする。
漢字で書くべき語句は漢字で答えること。

問2 下線部㊸は、岩崎^{いわさき}弥^や太郎^{たろう}(1835～1885)がつくった三菱^{みつびし}汽船^{きせん}会社
と共^{きょうどう}運輸^{うんゆ}会社が合併して設立されました。次の(1)(2)の問いに答えなさい。

(1) 岩崎弥太郎は、現在の高知県にあった藩の出身でした。この藩の名前を、漢字で答えなさい。

(2) 下線部㊸は、1893年に政府の命令でインドへの航路を開きました。その理由について書かれた次の文章について、①②の問いに答えなさい。

当時の日本の工業は、(ア) 工場に機械を導入して大量生産するようになり、それにともない社会のあり方も変化していました。最初に機械化が進んだのは、軽工業のうち紡績業でした。インドへの航路が開かれたのは、安いインド産の(イ)を手に入れやすくするためでした。

①下線部(ア)のことを何というか、漢字4字で答えなさい。

②空欄(イ)に入る語句として正しいものを、次のなかから1つ選び、記号で答えなさい。

ア. 羊毛 イ. 蚕^{かいこ}の繭^{まゆ} ウ. 皮革 エ. 綿花

問3 下線部㊹について、明治時代に採り入れられたものとして間違っているものを、次のなかから1つ選び、記号で答えなさい。

ア. 鉄道 イ. 郵便 ウ. ラジオ エ. 電話

問4 下線部㊺について、次の(1)(2)の問いに答えなさい。

(1) 7世紀初めの推古天皇の時代には、「徳」^{とく}「仁」^{じん}「礼」^{れい}「義」^ぎなど儒教で大切にされていること(徳目^{とくもく})の名称を用いた、役人の地位を定める制度がつけられました。この制度を、解答欄にあわせて漢字5字で答えなさい。

- (2) 江戸時代には、儒教は学問（儒学）として広く学ばれ、多くの学者が現れました。
1837年に大坂で蜂起した人物を、漢字で答えなさい。

問5 下線部㉔について、現在の東急東横線は、他の鉄道会社との直通運転がおこなわれ、神奈川県・東京都・埼玉県の3つの都県が結ばれています。次の(1)(2)の問いに答えなさい。

- (1) 下の表は、神奈川県と埼玉県を比較したものです。

県名／項目	人口（万人）	農業産出額（億円）	（ お ）
神奈川県	（あ）	（う）	横浜市・川崎市・相模原市
埼玉県	（い）	（え）	さいたま市

（『データでみる県勢2023』矢野恒太記念会）

- ①表の空欄（あ）～（え）に入る数字の組み合わせとして正しいものを、次のなかから選び、記号で答えなさい。

- ア.（あ）923 （い）734 （う）659 （え）1678
 イ.（あ）923 （い）734 （う）1678 （え）659
 ウ.（あ）734 （い）923 （う）659 （え）1678
 エ.（あ）734 （い）923 （う）1678 （え）659

- ②空欄（お）に入る項目を、漢字で答えなさい。

- (2) 神奈川県と埼玉県の両方が、東京都以外に接している県を、漢字で答えなさい。

問6 1923年におきた出来事も、下線部㉕の理由となっていました。この出来事を、漢字で答えなさい。

問7 下線部㉖について、次の(1)(2)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文章について、各問いに答えなさい。

和歌山県は、近畿地方の南に突き出た（ア）□□半島の南西部に位置し、北は大阪府、東は奈良県と三重県、西は（ア）□□水道をはさんで四国の（イ）□□県と向かい合っています。県の面積の8割以上は（エ）です。また、総延長650キロメートル以上に及ぶ海岸線はリアス海岸となっており、（オ）本州の最南端にあたる岬の近くを（ウ）□□と呼ばれる海流が流れています。こうしたことから、和歌山県には良い港がたくさんあります。

①空欄（ア）～（ウ）に入る語句を、漢字で答えなさい。□内に1字とする。

②空欄（エ）に入る語句として正しいものを、次のなかから選び、記号で答えなさい。

ア. 山地

イ. 台地

ウ. 湖沼

エ. 三角州

③下線部（オ）の岬の名前として正しいものを、次のなかから選び、記号で答えなさい。

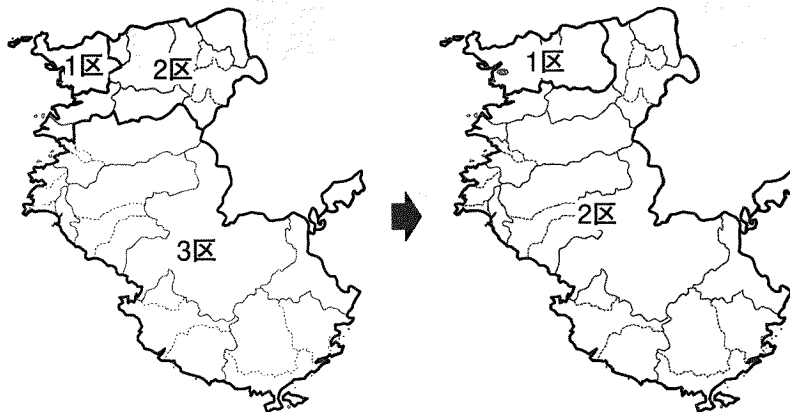
ア. 御前崎

イ. 室戸岬

ウ. 潮岬

エ. 宗谷岬

(2) 2022年12月、和歌山県の衆議院小選挙区の区割りが、下の図で示したように変更されました。



①変更された理由と、どのように変更されたのかについて、説明しなさい。

②2024年10月27日におこなわれた第50回衆議院議員選挙では、和歌山1区から小選挙区で立候補した人のうち、得票数が1位の人だけでなく、2位の人も議員に選ばれました。その理由として考えられることを、述べなさい。

③衆議院議員選挙では、「憲法の番人」と呼ばれる人々に対しても、国民が判断を下します。「憲法の番人」が何を指すのかを明らかにして、このしくみを答えなさい。

問8 下線部㉔について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 奈良時代に、藤原氏の氏寺（一族の寺）として栄えた寺院を、次のなかから1つ選び、記号で答えなさい。

ア. 東大寺

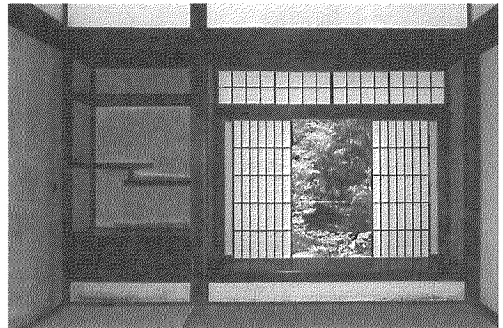
イ. 興福寺

ウ. 唐招提寺

エ. 薬師寺

(2) 現在の京都府にある慈照寺（銀閣寺）は、室町幕府の8代将軍が開いた山荘（山の中に構えた別荘）がもとになっています。

① この山荘には、右の写真のような部屋がありました。こうした部屋のつくりを何というか、漢字で答えなさい。



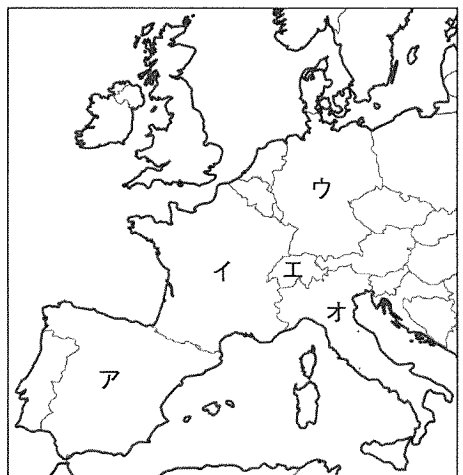
② この部屋のつくりについて、平安時代の貴族の住まいと異なる点を、2つあげなさい。

（『小学社会6』教育出版）

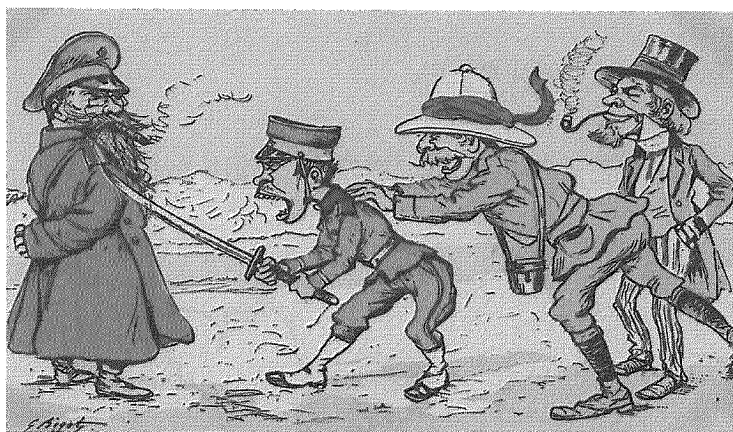
(3) 江戸時代の初め、幕府はあることを目的に、すべての民衆に対していずれかの仏教寺院の檀家（特定の寺院に所属すること）になることを義務づけていきました。その目的を、述べなさい。

問9 下線部㉕について、次の(1)(2)の問いに答えなさい。

(1) 下線部㉕の場所を、右の地図から選び、記号で答えなさい。



- (2) 1882年に下線部④から来た画家のビゴーは、1899年まで日本に滞在して、多くの作品を残しました。下の作品が描かれた時期として正しいものを、次のなかから選び、記号で答えなさい。



(『日本史図表』 第一学習社)

岩倉使節団を派遣する

← ア

日本が朝鮮を開国させる

← イ

日清戦争がおきる

← ウ

日露戦争がおきる

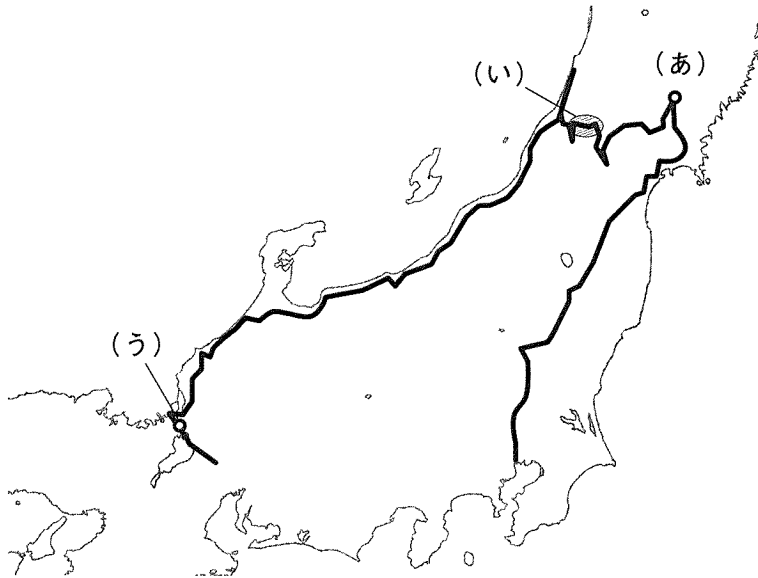
← エ

第1次世界大戦がおきる

問 10 下線部⑦について、1689年に東北地方や北陸地方を訪れた松尾芭蕉は、各地のようすや旅の途中で詠んだ俳句などを、旅日記にまとめました。このことについて、次の(1)(2)の問いに答えなさい。

(1) この旅日記の名前を、答えなさい。

(2) 下の地図は、松尾芭蕉の旅の行程(道のり)を示したものです。



①地図中(あ)の場所は、古代に奥州藤原氏が拠点としたところで、「夏草や兵どもが夢の跡」という俳句が詠まれました。この場所の名前を、漢字で答えなさい。

②松尾芭蕉は、地図中(い)の辺りで「五月雨を集めて早し□□川」という俳句を詠んだと言われています。□に入る語句を答えなさい。□内に1字とする。

③2024年3月、北陸新幹線は地図中(う)の場所まで開業しました。この場所の名前を、次のなかから選び、記号で答えなさい。

ア. 大垣 イ. 敦賀 ウ. 金沢 エ. 福井

問 11 下線部㉔について、1931年から1937年までの間の出来事として間違っているものを、次のなかから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 陸軍の青年将校などが、政府を倒すために蜂起した。
- イ. 海軍の青年将校などが、当時の犬養毅^{いぬかいつよし}首相を暗殺した。
- ウ. 日本が、常任理事国を務めていた国際組織を脱退した。
- エ. 日本が、ドイツ・イタリアと3カ国で軍事同盟を結んだ。

問 12 下線部㉕について、次の(1)(2)の問いに答えなさい。

(1) 下線部㉕は一級河川ですが、その指定は、ある省の大臣がおこなうことになっています。ある省の名前を、漢字で答えなさい。

(2) 次の河川とその川が流れている県の組み合わせとして間違っているものを、次のなかから1つ選び、記号で答えなさい。

- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| ア. 四万十川 ^{しまんと} —香川県 | イ. 信濃川 ^{しなの} —新潟県 |
| ウ. 北上川 ^{きたかみ} —岩手県 | エ. 球磨川 ^{くま} —熊本県 |

問 13 下線部㉖のようなことがおこなわれたのはなぜか、その理由を説明しなさい。

問 14 下線部㊦について、次の（１）～（３）の問いに答えなさい。

（１）教育を受ける権利は、日本国憲法で保障されている基本的人権のうち、□□権の１つです。□に入る語句を答えなさい。□内に１字とする。

（２）下の日本国憲法の条文は、（１）の□□権について書かれた部分です。空欄に入る語句を答えなさい。□内に１字とする。

第 25 条

①すべて国民は、健康で（ア）□□的な最低限度の生活を営む権利を有する。

②国は、すべての生活部面について、（イ）□□□□、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

第 26 条

①すべて国民は、法律の定めるところにより、その（ウ）□□に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。

第 27 条

①すべて国民は、（エ）□□の権利を有し、義務を負ふ。

②賃金、就業時間、休息その他の（エ）□□条件に関する基準は、法律でこれを定める。

第 28 条

（エ）□□者の団結する権利及び団体交渉その他の団体行動をする権利は、これを保障する。

（３）下線部㊦の「２つの法律」のうち、日本国憲法のもとでの教育の目的を定めた法律を、漢字で答えなさい。

問 15 波線部分について、１９２６年からの約１００年間でさまざまなことが大きく変化しました。そのきっかけになったと思う出来事を１つあげて、その出来事によりどのように変化したか説明しなさい。



問 1	(1)				(2)			(3)		
	(4)					(5)		(6)		
	(7)					(8)			(9)	
	(10)						(11)			
	(12)			(13)						

問 2	(1)			藩	(2)	①					②	
-----	-----	--	--	---	-----	---	--	--	--	--	---	--

問 3	
-----	--

問 4	(1)						制	(2)				
-----	-----	--	--	--	--	--	---	-----	--	--	--	--

問 5	(1)	①			②					(2)		県
-----	-----	---	--	--	---	--	--	--	--	-----	--	---

問 6	
-----	--

問 7	(1)	①	ア			イ			ウ			②		③	
	(2)	①													
		②													
		③													

問 8	(1)			(2)	①			
	(2)	②						
	(3)							

問 9	(1)		(2)	
-----	-----	--	-----	--

問10	(1)				(2)	①			②			③	
-----	-----	--	--	--	-----	---	--	--	---	--	--	---	--

問11	
-----	--

問12	(1)			省	(2)	
-----	-----	--	--	---	-----	--

問13												

問14	(1)											
	(2)	ア				イ					ウ	
		エ										
(3)	法											

問15	(出来事)												
	(説明)												



251040

↓ここにシールをはってください↓

受 験 番 号	氏 名	得 点